

情報公開用文書（単施設研究用）

西暦 2025 年 4 月 10 日 作成
(第 1 版)

研究課題名	急性上腸間膜動脈閉塞症の調査
研究の対象	2018 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に急性上腸間膜動脈閉塞症で当院を受診した方を対象とします。
研究の目的	上腸間膜動脈が急性に閉塞するこの疾患は近年の報告においても死亡率が約50%と非常に高く、救命できても広範な小腸切除による短腸症候群を合併することがある重篤な疾患です。治療の要点は閉塞した上腸間膜動脈の血流を再開することと、腸管の血流状態の評価ならびにそれに対する対処であり、当院では2023年以降、初期治療から消化器外科と心臓血管外科が共同して診療にあたっています。 どのような患者さんに、またどのような方法で血流を再開させるか、腸管の血流状態をどのように評価するか、などまだまだこの疾患の問題点は数多くあります。 本調査の目的は、当院で急性上腸間膜動脈閉塞症の治療を受けた方の状況を調査して、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、急性上腸間膜動脈閉塞症の治療を受けた方の当院受診前、入院中、退院時の状況について検討します。 通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究の期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2025 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・報の種類	【試料】 この研究は診療録による調査なので、患者さんから採取した検体を用いて行うものではありません。 【情報】 診療録から以下の情報を収集します。 ベースライン調査 (1) 基本データ：診療録番号、入院時年齢、性別、身長、体重、既往歴 (2) 症状、主訴 (3) 理学所見：腹部、腹痛の状況 (4) 時間経過：発症から当院受診、診断、治療までの時間 (5) 画像所見：CT 所見 (6) 治療内容 (7) 手術内容 (8) 退院時の状況
試料・情報の 授受	なし

個人情報の管理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう対応表とよばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理 について 責任を有する者	研究責任者：横浜南共済病院 心臓血管外科 軽部 義久
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 この研究において、他からの資金提供はなく、と利益相反もありません。
研究組織	【研究機関と研究責任者】 横浜南共済病院 心臓血管外科 （研究責任者）軽部 義久
本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記の連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	
問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先← 〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 電話 045-782-2101（代表） （平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで） FAX 045-701-9159 連絡先対応者（研究責任者） 心臓血管外科 血管疾患部長 軽部 義久 *お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。 以上	

*承認日＝病院長の決裁日

西暦 2025 年 4 月 28 日

承認